

# JR東海労ニュース

№.1033  
2008年5月3日  
JR東海労働組合

**何と！助役がこっそりボルトを緩める！  
悪質な助役を絶対許さない！**

ゴールデンウィーク中の4月29日、大阪第二車両所で交番検査の予備検査時に、助役が正常状態にあるライニング取り付けボルトを緩めキンパクを切るという行為。さらに、フサギ板のボルトを緩めるという極めて悪質な行為をしていたことが明らかになりました。

会社は「社員がちゃんと点検を行っているか試す」ためとしていますが、作業の際には決められた「チョークチェック」や「作業分担」が厳しく決められています。助役なら何をしてもいいとはなりません。

また、加圧中でライニングが動く恐れがあるにもかかわらず、助役がC担務にキンパクを行うよう指示しているのです。

この件に関して所長は、「関係箇所連絡しているから何ら問題はない」と呆れる回答をしているのです。交番検査の電車は「訓練」や「技術コンテスト」に使用するものではありません。安全な車両として営業に使用する電車です。

会社は日頃から「安全」や「安全な作業」を口にします。助役のしていることは会社の言っていることと相反するではありませんか。

**会社が日頃言っている  
「安全作業」に相反する行為だ！**

**全社員のみなさん！作業中、助役を見たら注意しよう！**